

令和4年(2022年) 12月9日(金) 14020号



株式会社 日刊金属

本社 大阪市北区天満2丁目12番地3号
ヴィレッジリバー南森町3階E号
TEL: 06-6353-7831
FAX: 06-6353-7832
MAIL: metal_info_osaka@nikkankinzoku.co.jp
WEB: https://homenikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
6か月 38,880円 6か月 46,200円



銅建値は1万円引き上げの120万円

12月の月内建値平均は119万6,800円

JX金属は8日、電気銅建値を1万円引き上げの120万円にすると発表、同日より実施した。12月の月内建値平均は119万6,800円。8日に入電した直近のLME銅相場前場売値が8,334.00ドル。8日の東京市場の米ドルTTSレートは137.57円。この値で換算した採算価格は、114万6,500円。建値と採算価格から見た諸掛りは5万3,500円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り。(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)

2022年

7月…	1170(1) 1130(5) 1080(7) 1100(11) 1050(13) 1070(19)	
	1050(22) 1080(27)	平均1085.5
8月…	1110(1) 1090(3) 1110(8) 1140(12) 1110(16) 1140(19)	
	1160(23) 1170(26)	平均1129.5
9月…	1140(1) 1120(5) 1160(7) 1190(9) 1210(13) 1180(15)	
	1170(21) 1130(26)	平均1158.5
10月…	1150(3) 1170(5) 1190(17) 1170(20) 1190(24) 1200(27)	
		平均1178.9
11月…	1170(1) 1250(7) 1230(9) 1250(14) 1220(16) 1190(18)	
	1170(22) 1160(28)	平均1202.1
12月…	1190(1) 1200(8)	平均1196.8



黄銅削粉買値は8円 引き上げの870円

関西の黄銅棒大手メーカー日本伸銅は8日、黄銅削粉買値を8円引き上げの870円と発表した。

今月2回目の改定。12月の月内買値平均は867.6円。

INMERA ロシア：Baimsky銅鉱床の操業開始が 1年後ろ倒し、2028年に

2022年11月25日付けの報道等によると、英KAZ Minerals社が、ロシアのChukchi自治管区で開発を進めているBaimsky銅鉱山における採鉱選鉱物コンビナートと、同鉱山に電力を供給するRosatom社が建設中の水上原子力発電所の操業開始を1年延期し、2028年とする可能性がある。

当初、KAZ Minerals社は、Baimsk銅プロジェクトの操業開始を2027年末とし、その後、メインライフ20年以上での生産を予定していた。同プロジェクトは、鉱石処理能力70百万t/年(35百万t×2系列)を有する選鉱プラントを含んでおり、最初の10年間の平均年間生産量は、銅300千t/年、金490千oz/年とされる。メインライフ全体では、品位：Cu 0.47%、Au 0.27g/tと推定されている。

KAZ Minerals社は、2019年1月に採掘権を取得し、2021年12月時点では、プロジェクトの開発費を620bRUB(ロシア・ルーブル：約8.5bUS\$)と見積もっていた。また同プロジェクトにより、ロシアの銅

生産量が25%、金生産量が4%増加し、開発期間において11千人、操業開始後に5千人の雇用が創出されると伝えられていた。

水上原子力発電所は、Rosatom子会社Atomenergomash社によるもので、RITM-200型原子炉2基を備えた出力106MWの発電所を4隻建造する予定であり、2028年初頭までに3隻、2031年初頭までに追加1隻が建造される予定であった。

これに先立ち、2022年8月には、欧米諸国による金融制裁の対象とされるVTB銀行に対し、KAZ Minerals社からの利息支払が不可能となったとの報道がなされていた。

銅・非鉄原料は

ホームページはこちら▶
www.kimura-metal.co.jp



QRコード

木村金属株式会社
Kimura **06-6552-7840**

大阪市大正区

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役

橋本 健一郎



11月のアルミ概況および12月の見通し (3)

予想レンジ

LME 現物後場買い	2,300-2,500ドル	★
スクラップ	0~+5円(前月最終価格より)	★
為替	135円~140円	円安

(1か月間TTM)

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-4.4%の15万4,391tで7カ月連続マイナス。

板類は9万6,116tで-2.4%の6か月連続マイナス。
押出類は5万8,275tで-7.5%の10か月連続マイナス。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は+5.5%の6万5,942tで2カ月連続プラス。
出荷は+6%の6万6,613tで2カ月連続プラス。

【輸出】

新地金は-52.8%の102t、二次合金は-33.6%の1,565t、スクラップは+15%の3万4074t、アルミ缶は+20.6%の7,079t。

【輸入】

新地金は-15.1%の10万2,486t、二次合金は-19.5%の8万9,102t、スクラップは+88.2%の817t、合金スクラップは-23%の5,564t。

【見通し】

【自動車】

10月の自動車生産が+36.1%。11月国内販売台数が前年比+1%で3カ月連続生産、販売共に増加したが販売は微増。ようやく大幅に生産回復してきたが、販売が同時に伸びるか注視。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
電話 0774-43-6700(代表)

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで

Ogico OHSITANI Corporation

銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530
東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800
名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005
海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム
<http://www.ogico.co.jp>

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-4.4%の15万4,391tで7カ月連続マイナス。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

中国のゼロコロナ策の緩和からの自動車生産の回復により今後、自動車の挽回生産が進行するものと期待される。
・アルミ輸出は中国向けや円安を受けてスクラップが増加。
・アルミ輸入は内需回復からスクラップが増加。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫は前月に続き欧米の金融引き締め策からLME価格が2,200-2,400ドルと低位安定。自動車生産は回復基調にあるが住宅着工の低迷から入荷も少なそう。

需要面に関しては中国のゼロコロナ政策の緩和により今後、自動車の挽回生産が進行するものと期待される。

【LME・為替予想】

今月は以下の項目に左右される。①米国の金融政策
②中国のゼロコロナ対策(ロックダウンなど)の動向
①に関しては、米国に関してパウエル議長が先月30日の講演で早ければ今月の会合で利上げ幅を縮小することを示唆。そのうえでインフレ率は依然高すぎるとして利上げなどの金融引き締めを継続する考えを改めて強調。年内は0.5%の利上げを行うのではないかと。

②に関しては、ゼロコロナ策への反発が全国規模で起こっていることから上海の制限が解除、また、副首相が保健当局の会議で2日続けて「ゼロコロナ」政策の継続について言及せず、感染対策の適正化をさらに進める考えを示した。中国政府が今後感染対策を緩和するのではないかと。

これらを踏まえた10月のアルミ価格は2,300-2,500ドル(セツル)との予想。

ドル円値は130円~140円(TTM)台を予測。

スクラップ購入価格に関しては、据置から+5円程度と予想している。

(「11月のアルミ概況および12月の見通し」おわり)

電力システム改革提言を公表

自然エネルギー財団

公益財団法人自然エネルギー財団(孫正義会長、東京都港区)はこのほど、「エネルギー危機を踏まえた電力システム改革の提言」を公表した。

電力分野に焦点を当てて現在の危機の構図を分析、安定供給を確保するとともに化石燃料から脱するための電力システム改革を加速、徹底するための提言を展開している。同財団では、世界的なエネルギー危機に対して「脱炭素の急ぎ過ぎが原因」「原子力発電の再稼働を急ぐべき」などと主張され、電力システム改革自体が間違っていたという指摘があるが、現在の危機は化石燃料が抱える不安定性に由来し、1970年代の石油危機をはじめ過去にも繰り返されてきた事態と説明。日本が直面している危機の背景には、自然エネルギーの導入率が代表的先進国の半分以下にとどまっていることや市場メカニズムを効果的に活用できていないことがあり、エネルギー転換の遅れと電力システム改革の不徹底こそがより本質的な要因と訴えている。

提言内容の項目は次の通り。

第1章：エネルギー危機の構図＝電力の価格高騰と「電力難民」問題の背景／電力の需給ひっ迫の背景／「供給力不足」の実相と太陽光の役割

第2章：電力システム改革10年の成果と更なる課題＝電力システム改革10年の成果／エネルギー危機で明らかになった課題

第3章：電力システム改革の理念に基づく電力の安定供給を実現するための提言＝短期的対策(～1、2年)／中期的な対策(～5年)／長期的な対策(～10年)

おわりに：／参考資料＝家庭用太陽光発電・蓄電池の導入と経済性シミュレーション、49kW太陽光発電所に過積載・蓄電池導入を行いFiPで運用した場合の電力供給量シミュレーション

2023シンプ 2月3日に開催

コージェネ財団

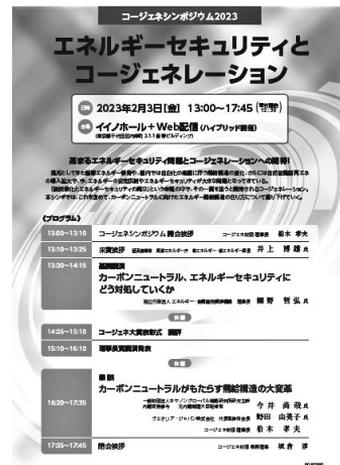
一般財団法人コージェネ財団(柏木孝夫理事長、東京都港区)は2023年2月3日午後、「コージェネシンポジウム2023～エネルギーセキュリティとコージェネレーション～」を開催する。

東京都千代田区内幸町2のイノホールとWeb配信のハイブリットで行い、会場定員200人(会員のみのみ)、Web配信定員1,000人(会員・非会員)の参加者を募集している(ともに先着順)。

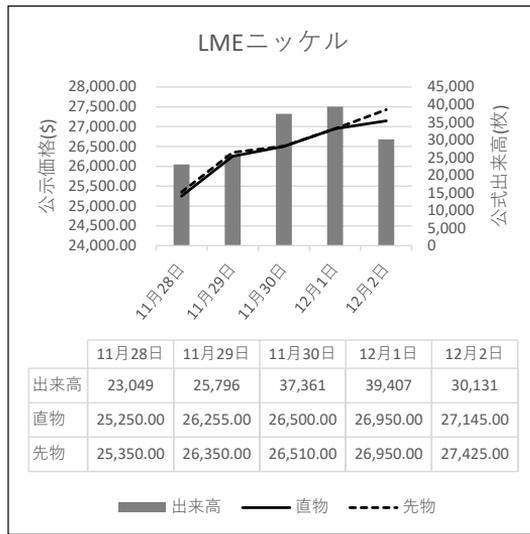
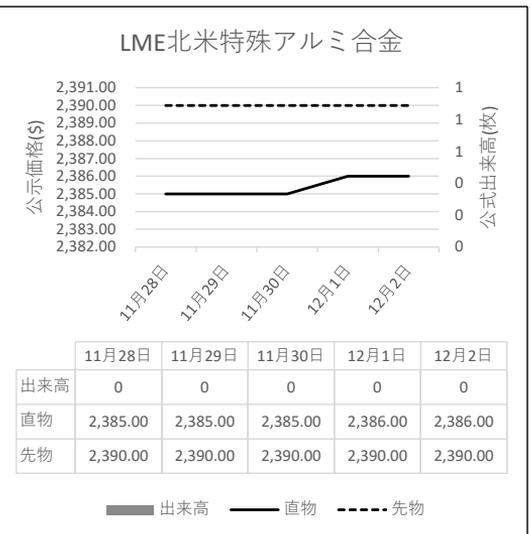
参加費は会場2,000円、Web配信は会員が無料、非会員2,000円。申し込みはホームページから。

概要は次の通り。

【基調講演】「カーボンニュートラル、エネルギーセキュリティにどう対処していくか」：独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構 細野哲弘理事長【コージェネ大賞理事長賞講演】民生用部門・産業用部門・技術開発部門【鼎談】「カーボンニュートラルがもたらす需給構造の大変革」：一般財団法人キヤノングローバル戦略研究所研究主幹・内閣官房参与 元内閣総理大臣秘書官 今井尚哉氏／ヴェオリア・ジャパン株式会社 野田由美子会長／柏木孝夫理事長



LME公式値週間推移 11月28日～12月2日(現地)



コージェネ財団がシンプを開催

故銅市況

8日朝入電の海外相場は、LME (ロンドン金属取引所) 銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の8,355.00ドルより21.50ドル安の8,334.00ドル。直物の終値は、前営業日の8,384.75ドルより45.25ドル高の8,430.00ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の8,400.00ドルより25.00ドル安の8,375.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の8,421.50ドルより35.00ドル高の8,456.50ドル。COMEX (ニューヨーク商品取引所) 銅相場の3月限は、前営業日の381.80セントより4.25セント高の386.05セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の1月限は、前営業日の6万5,900元より40元安の6万5,860元。

8日の東京為替市場TTSレートは、前日の138.31円より0.74円の円高ドル安、1ドル=137.57円。8日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は8,334.00ドル。この値と8日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の119万3,000円より9,000円安の118万4,000円。この日、電気銅建値は120万円に引き上げられた。

為替動向

7日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで上昇。16時、前日と比べ0.0010ドルのユーロ高ドル安、1ユーロ=1.0500ドル~1.0510ドルで推移した。米国の金利低下で欧米の金利差縮小を見込んだユーロ買いドル売りが優勢になった。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区 (12月前半)

2S=225円~245円、63S=209円~260円、アルミホイール(1P)=126円~240円、ビス付サッシ=100円~109円、エンジンコロ=105円~113円、込合金(機械铸件)=101円~109円、缶プレス(ソフト)=66円~76円。

関西地区 (12月前半)

2S=208円~210円、63S=210円~245円、印刷版=200円~205円、アルミホイール(1P)=191円~204円、ベースメタル=149円~153円、機械铸件=106円~109円、ドライ粉=90円~93円、ビス付サッシ=88円~123円、缶プレス=83円~88円。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(12月8日更新)

直納問屋筋によるロット物 (5トン前後) の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が1038~1043、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは1003~1008、並銅は968~978、込銅 (高品位=約97%) は958、セバは692~697。コーペルは要り用筋で633、それ以外は618ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋643、それ以外613~623どころの値頃。並青銅铸件削粉は847~852どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が1018~1038、上銅新くずが983~1003、普通上銅が958~978、2号銅線が950~970、並銅が948~968、込銅(94-97%)が896、込銅(90-93%)が898、下銅が447~497、セバが657~692、コーペルが573~618、黄銅棒地が568~613、黄銅削粉が563~608、黄銅ラジが528~536、交叉ラジが559~616、黄銅铸件が543~550、送りが332~351、上青銅铸件が844~864、並青銅铸件が824~839、上青銅铸件削粉が839~859、並青銅铸件削粉が814~834どころ。

ただ、欧米の中銀が金融引き締めを長期化させるとの受け止めから欧州景気の悪化懸念は根強くユーロの上値は限られた。

7日のニューヨーク外国為替市場で円相場は3営業日ぶりに反発した。前日と比べ0.45円の円高ドル安、1ドル=136.50円~136.60円で取引を終えた。FRBの利上げ継続観測は根強いものの積極的な金融引き締めが景気を冷やすとの警戒感も強い。この日、世界的な景気悪化への懸念から米国では長期金利が一時大きく下落、ドル売りが促された。

8日早朝の東京外国為替市場で円相場は上昇した。前日17時と比べ1.15円の円高ドル安、1ドル=136.26円~136.28円で推移した。FRBの金融引き引き締めが長期化すると世界的な景気先行きに悪影響が及ぶとの懸念は根強い。7日、ロシアのプーチン大統領が核戦争のリスクについて「そのような脅威は高まっている」と語ったと伝えられたこともあり米国の長期金利は一時3.40%と9月中旬以来の水準まで下落。円買いドル売りを誘った。

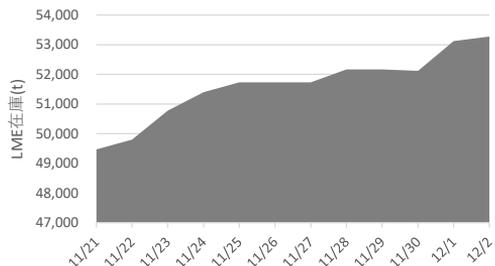
円は対ユーロでも上昇。同じく、0.48円の円高ユーロ安、1ユーロ=143.25円~143.28円で推移した。

LME認定倉庫在庫量推移 11月21日~12月2日(現地)

北米特殊



ニッケル





LME銅相場は続落 直物終値は8,430.00ドル
 COMEX銅相場は続伸 SHFE銅相場は続落
 LME非鉄相場は総じて軟調 ニッケルは午後の相場で急騰



8日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、12月7日入電の8,355.50ドルより21.50ドル安の8,334.00ドル。2営業日の続落で1.26%安。この週0.10%の下落。12月に入って1.66%の上伸。3か月物の前場売値は、12月7日入電の8,400.00ドルより25.00ドル安の8,375.00ドル。2営業日の続落で1.12%安。この週0.13%の上伸。12月に入って2.07%の上伸。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地12月6日の8万6,375トンより2,100トン増の8万8,475トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、12月限が、12月7日入電の381.15セントより4.40セント高の385.55セント。2営業日の続伸で1.74%高。この週0.19%の上伸。12月に入って3.38%の上伸。1月限は、12月7日入電の381.60セントより4.25セント高の385.85セント。2営業日の続伸で1.74%高。この週0.21%の上伸。12月に入って3.21%の上伸。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、12月限が、12月7日入電の6万6,050元より110元安の6万5,940元。2営業日の続落で0.99%安。この週0.15%の下落。12月に入って1.49%の上伸。中心限月に当たる1月限は、12月7日入電の6万5,900元より40元安の6万5,860元。2営業日の続落で0.54%安。この週0.05%の上伸。12月に入って1.65%の上伸。

錫は反落

LME錫相場の前場売値は、直物が、12月7日入電の2万4,600.00ドルより125.00ドル安の2万4,475.00ドル。7営業日ぶりの反落で0.51%安。この週4.15%の上伸。12月に入って6.53%の上伸。3か月物の前場売値は、12月7日入電の2万4,450.00ドルより125.00ドル安の2万4,325.00ドル。5営業日ぶりの反落で0.51%安。この週4.24%の上伸。12月に入って7.28%の上伸。

LME公認倉庫の錫在庫は現地12月6日の3,075トンより30トン増の3,105トン。

鉛も反落

LME鉛相場の前場売値は、直物が、12月7日入電の2,210.00ドルより4.00ドル安の2,206.00ドル。4営業日ぶりの反落で0.18%安。この週1.61%の上伸。12月に入って1.94%の上伸。3か月物の前場売値は、12月7日入電の2,228.00ドルより4.00ドル安の2,224.00ドル。4営業日ぶりの反落で0.18%安。この週1.78%の上伸。12月に入って2.49%の上伸。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地12月6日の2万3,750トンよりトン減の2万3,750トン。

亜鉛も反落

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、12月7日入電の3,187.00ドルより47.00ドル安の3,140.00ドル。7営業日ぶりの反落で1.47%安。この週2.40%の上伸。12月に入って5.58%の上伸。3か月物の前場売値は、12月7日入電の3,161.00ドルより48.00ドル安の3,113.00ドル。7営業日ぶりの反落で1.52%安。この週1.60%の上伸。12月に入って5.10%の上伸。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地12月6日の3万8,975トンより400トン減の3万8,575トン。

アルミは続落 アルミ合金は横ばい 北米特殊も横ばい

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、12月7日入電の2,461.00ドルより10.50ドル安の2,450.50ドル。2営業日の続落で1.39%安。この週0.08%の上伸。12月に入って2.66%の上伸。3か月物の前場売値は、12月7日入電の2,490.50ドルより13.50ドル安の2,477.00ドル。2営業日の続落で1.59%安。この週0.08%の下落。12月に入って2.40%の上伸。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地12月6日の49万1,750トンより万8,175トン減の48万3,575トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、12月7日入電より横ばいの1,860.00ドル。この週横ばい。12月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、12月7日入電より横ばいの1,860.00ドル。この週横ばい。12月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、12月7日入電より横ばいの2,387.00ドル。この週0.04%の上伸。12月に入って0.08%の上伸。3か月物の前場売値は、12月7日入電より横ばいの2,390.00ドル。この週横ばい。12月に入って横ばい。

ニッケルは反発

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、12月7日入電の2万8,250.00ドルより475.00ドル高の2万8,725.00ドル。反発して1.68%高。この週5.82%の上伸。12月に入って8.40%の上伸。3か月物の前場売値は、12月7日入電の2万8,350.00ドルより575.00ドル高の2万8,925.00ドル。反発して2.03%高。この週5.47%の上伸。12月に入って9.11%の上伸。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地12月6日の5万4,240トンより588トン減の5万3,652トン。

LME公示価格(US\$)／12月7日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	8,334.00	24,475.00	2,206.00	3,140.00	2,450.50	1,860.00	2,387.00	28,725.00
	前営業日比	▲ 21.50	▲ 125.00	▲ 4.00	▲ 47.00	▲ 10.50	0.00	0.00	475.00
先物	公示価格	8,375.00	24,325.00	2,224.00	3,113.00	2,477.00	1,860.00	2,390.00	28,925.00
	前営業日比	▲ 25.00	▲ 125.00	▲ 4.00	▲ 48.00	▲ 13.50	0.00	0.00	575.00

海外非鉄金属相場

(12月8日 入電・現地 12月7日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 銅AG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 錫HG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 鉛, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 亜鉛SHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミHG, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: 北米特殊アルミ合金, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 前場, 後場. Rows: ニッケル, 現物, 前日比, 先物, 出来高.

Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: NYコメックス相場, 出来高, 12月限, 1月限, 2月限, 3月限, 4月限, 前日比, 出来高.

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル.

フリー・マーケット

米国生産者価格 (地金)

Table with columns: 銀(セント/オンス) EH社, 銀(セント/オンス) HH社. Values: 2280.0 (30.0), 2268.0 (45.2).

NY相場

Table with columns: 取引業者銅(セント/ポンド), 2号銅線くず(セント/ポンド). Values: 256.35 - 257.35, 353.35 - 357.35.

ロンドン相場 (ドル)

Table with columns: 金(オンス), アンチモン99.65%(トン), ビスマス99.9%(ポンド), カドミウム99.99%(ポンド), インジウム99.99%(キロ), セレニウム99.5%(ポンド), スポンジチタン99.5%(キロ), フェロモリブデン欧州産65%(キロ), コバルトカソード99.8%(ポンド), マグネシウム中国産99.9%(トン), タングステンAPT(純分10キロ), タンタル鉱石30-35%(ポンド). Values: 1782.20 (8.40), 11600 - 12000, 3.60 - 3.90, 1.71 - 1.81, 223 - 245, 8.50 - 10.00, 9.25 - 10.90, 46.00 - 47.00, 25.80 - 27.00, 3500 - 3800, 320.0 - 350.0, 88 - 93.

KLTM編 (MYR/KG, 出来高トン)

Table with columns: 相場, 出来高, ドル建て価格, ODレート, M\$/US\$レート, 採算円/キロ, US\$採算円/キロ. Values: (7日), (8日), 3.7600, 4.4064.

LME在庫 (トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル. Values: 88,475, 3,105, 23,750, 38,575, 483,575, 2,020, 3,240, 53,652.

上海在庫 (トン)

Table with columns: 在庫, 増減. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 65,226, 95,477, 17,931, 38,688, 3,668.

LMEプレマーケット (ドル)

Table with columns: 先物気配. Rows: (12/8), (3:00AM現地). Values: 銅 8,442.5 - 8,445.5, アルミ 24,255.0 - 24,445.0, 鉛 2,211.0 - 2,213.5, 亜鉛 3,185.5 - 3,187.0, アルミ 2,499.5 - 2,501.5.

上海相場

Table with columns: トン当たり元, 1ロット=5トン・増値税込. Rows: 銅, アルミ, 亜鉛, 鉛, ニッケル. Values: 12月限 65940, 19315, 24920, 15790, 212300; 1月限 65860, 19255, 24765, 15800, 209030; 前日比 110, 10, 180, 140, 1540; 出来高 19490, 10250, 4925, 810, 318.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

※8日のKLTMは取引がありません。

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Values: 8334, 24475, 2206, 3140, 2451, 28725, 386, 65940, 19315, 24920, 15790.

非鉄金属製品相場

(12月8日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線(現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)	
銅小板2.0ミリ	◎ 1500	1465	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F	
建築用0.3ミリ	◎ 1550	1515	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6	56~58
銅大板2×1×2	◎ 1630	1665	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0	99.5~102
銅管(ベース)	1680	1665	鉛板1.5ミリ	590	590	3C×1.6	104~107
水道用管(m当たり)13ミリ	1590	1575	鉛線3ミリ	465	465	3C×2.0	152~155
銅棒25ミリ	◎ 1410	1435	軽圧品		大阪	東京	I V
銅条1.5×100	◎ 1465	1480	アルミ箔0.007ミリ	1125	1145	1.6mm	31.9~33.9
銅線0.9ミリ	◎ 1490	1495	〃 小板1ミリ	760	775	5.5sq	87~92.5
銅帯6×50	◎ 1420	1435	〃 大板1ミリ	740	765	14sq	217~231
銅平角線	◎ 1690	1665	〃 5052板	795	815	CV-T	
黄銅小板2.0ミリ	◎ 1240	1255	〃 6061板	1325	1345	600V 3C×38	1654~1758
〃 0.3ミリ	◎ 1270	1285	〃 2017板	1250	1375	600V 3C×60	2547~2707
黄銅大板2×1×2	◎ 1390	1435	〃 線3ミリ	740	760	600V 3C×100	4279~4548
黄銅管	◎ 1745	1735	〃 快削棒50ミリ	960	980	6kV 3C×38	2653~2815
復水器用黄銅管	◎ 1715	1705	〃 合金棒50ミリ(17S)	945	960	6kV 3C×60	3705~3931
黄銅棒快削25ミリ	◎ 1005	1060	〃 合金棒50ミリ(56S)	900	920	CVV (関西-関東)	
六角棒	◎ 1035	1090	貴金属(一般小口向け)			3C×2	129~132
四角棒	◎ 1065	1120	白金(グラム)	◎ 4939		4C×2	173~177
鍛造用	◎ 1045	1100	パラジウム(グラム)	◆ 9223		6C×2	246~252
ネーバル	◎ 1145	1200	金(グラム)	◎ 8683		7C×2	281~288
高力	◎ 1145	1200	銀(キログラム)	◎ 112310		合金鉄 10月輸入単価(CIF)	
黄銅線6ミリ	◎ 1415	1435	レアメタル輸入価格 10月通関(CIF)			フェロマンガ2%以上炭素含有	270
黄銅平角線ロール仕上	◎ 1615	1645	金属ケイ素(99.99%未満)	488		〃 その他	315.6
黄銅条1.5×100	◎ 1235	1270	モリブデン酸化物	3714		フェロシリコン55%以上	354
リン青銅板一般用1.0ミリ	2630	2820	タンタル	53773		フェロクロム4%以上炭素含有	280.8
〃 バネ用0.3ミリ	2860	3060	マグネシウム	516		フェロモリブデン純分60%以上	3766
リン青銅棒25ミリ	2800	3010	コバルト	8393		フェロバナジウム	3563
リン青銅線3ミリ	3100	3310	インジウム	32605		フェロニッケル33%未満	669
洋白板一般用1.0ミリ	3840	3990	減摩合金 12月1日改定			電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326
〃 バネ用1.0ミリ	3990	4150	銅合金地金 12月1日発表				
(500kg以上、大口価格)			(標準価格) 大阪				
1種	4080	BC 1種	1235				
2種	3975	2種	1550				
3種	3860	3種	1630				
4種	3405	6種	1335				
5種	3235	7種	1450				
7種	1255	YBSC 3種	1110				
8種	1120	LBC 3種	1575				
9種	970	PBC 2種	1650				



https://home.nikkankinzoku.co.jp/

非鉄金属材料相場

キロ当たり円		◎上げ ◆下げ		(12月8日調べ)		インジウム大口-小口(99.99%)		37,000 ~ 39,000(1)				
非鉄原料 (炉前材)		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場					
1トン以上外税持込						高値	安値	高値	安値			
1号銅線	◎1078	◎1073	電 気 銅	◆1161	◆1156	◆1163	◆1158	山元建値	電気銅	1200(8)	金	7,878(8)
2号銅線	◎1036	—	電 気 亜 鉛	470	464	470	464	() 実施日	電気鉛	357(7)	銀	101,200(8)
上銅(新切)	◎1049	◎1043	蒸 留 亜 鉛	458	452	458	452		電気亜鉛	481(6)	錫(99.99%)	4,600(1)
雑ナゲット	◎907	◎903	再生ダイカスト亜鉛2種	373	367	373	367					
並銅	◎991	◎971	再生亜鉛(98%)	326	320	326	320					
下銅	◎972	◎943	電 気 鉛	338	335	338	335					
銅削粉	◎966	◎946	再 生 鉛 1 号	320	310	313	308					
銅さい(30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	325	321	318	314					
新切黄銅セバ	◎792	◎803	錫 1 号	3570	3520	3570	3520					
コーベル	◎760	◎761	ア ン チ モ ン	1850	1800	1850	1800					
黄銅棒地	◎758	◎749	ニッケル(メッキ用)	3900	3850	3900	3850					
黄銅削粉	◎752	◎745	コ バ ル ト	7600	7300	7600	7300					
並黄銅	700	667	セ レ ニ ウ ム	3600	3400	3600	3400					
黄銅ラジエター	◎601	◎589	ビ ス マ ス	1500	1400	1500	1400					
交叉ラジエター	648	618	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550					
黄銅鑄物	705	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	470	450	470	450					
山送り(55%)	◎389	—	アルミ地金99.70%	◆383	◆379	◆385	◆381					
上青銅鑄物	◎848	—	アルミ二次地金99%	323	318	323	318					
並青銅鑄物	◎846	◎822	〃 90%	303	298	303	298					
上青銅鑄物削粉	◎841	—	アルミ二次合金ADC12	424	419	427	422					
並青銅鑄物削粉	◎831	◎807	鑄物用C2BS	451	446	449	444					
新切リン青銅(伸銅)	—	◎1064	青銅合金地金3種	◎1580	◎1570	◎1660	◎1650					
〃(鑄物)	◎962	—	〃 6種	◎1300	◎1290	◎1355	◎1345					
リン青銅削粉	◎880	◎860	ハンダ錫60%	2740	2700	2760	2730					
新切洋白(電子材)	◎892	◎867	〃 50%	2385	2335	2405	2375					
新切亜鉛	231	231	〃 40%	2095	2035	2050	2020					
ダイカストくず	196	196	減摩合金2種	3965	3935	3970	3940					
亜鉛ドロス	174	185	〃 4種	3395	3370	3400	3370					
上鉛	145	143	〃 7種	1200	1150	1200	1150					
電池素鉛ケース込	25	25	ステンレス・特金	18-8ステンレス 新切		90	85					
活字鉛	130	127		〃 ダライ粉		75	70					
新切アルミ1級	260	254		高耐食ステンレスSUS316		240	240					
新切サッシ1級	260	252		耐熱ステンレスSUS310		415	415					
新切合金1級	245	232		13クローム 新切		23	24					
機械鑄物1級	190	197		ハイス 9種		265	265					
ビス付サッシP	221	212										
合金削粉P	135	141										
込ガラP	125	130										
カン・バラ	183	169										

非鉄金属材料相場面
PW:nikkin202212